



女性と家族へのエンパワーメントと 男女平等推進センター



私たちの生活の単位としての「家族」「家庭」・・・

独り暮らしであれ、数人であれ、一人ひとりが幸せな平穏な日々を願いつつ暮らしています。けれど、大なり小なり悩みのない人はいないでしょう。

自分自身の事、家族の事、どうにもならないと深刻に思えること、結構あります。

家族の一人がこんな事に悩んでいるとしたら・・・

アルコール、DV

酒を飲むと暴れ出す。暴力、暴言、物を壊す

ハラスメント

学校、会社、地域でセクハラを受けている

デートDV

交際相手から電話をチェックされる

いじめ、貧困

子どもが学校に行けない。給食費が払えない

社会・他人とのつながり方

地域づきあい、人間関係がうまくいかない



性と身体

LGBTの事で悩んでいる

離婚、婚費

離婚、別居の悩みがある

虐待、性虐待

誰にも言えない

こうした悩みが一つでもあれば、心がふさぎ、毎日が不安ですね。

アルコール依存、DV、虐待など連鎖が連鎖を生んでいる現実もあります。個々の事例が重層し、犯罪を引き起こしてしまうこともあります。

男女平等推進センターは、「女性悩みごと相談」をはじめ、さまざまな学習会、講演会などの事業を行っています。それらを通して、心が軽くなり、心が開かれて、知識が増え、自身の力で解決することが出来る（エンパワーメント）ことをめざしています。

(*エンパワーメント：人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っているすばらしい生きる力を湧き出させること。)

予告！！ 2016年1月30日(土)・31日(日)第16回まちだ男女平等フェスティバル開催！

基調講演「三度の食事が社会を変える?!」 料理研究家 枝元なほみさん

日時：2016年1月30日(土) 9:45~12:00 場所：町田市民フォーラム3階ホール

(他催し物多数あり。申し込み等は1月11日発行広報紙「男女平等推進センターだより」でご確認ください。)

12月開催 登録団体企画 講演会

「男の子と女の子の境界線ってなんだろう?～
子どもの世界のセクシュアルマイノリティ～」

30人に1人とも2人ともいわれるセクシュアルマイノリティの多くは、幼い子どもの頃に性別の違和感を持つといわれています。セクシュアルマイノリティは特別なことなのでしょうか?一緒に考える講座です。

日時 2015年12月12日(土) 午前10時～11時30分

場所 町田市民フォーラム3階 視聴覚室

講師 東京未来大学教授 石坂督規さん

終わった講座レポート

デートDV防止啓発講座 於 和光大学
「これって、デートDV?」

昨年度に引き続き、2015年11月19日、和光大学との共催で共通教養科目「法と人権」の授業で、デートDV防止啓発講座を開催しました。デートDVとは何か、パートナーと対等に尊重しあう関係を作るには・・・100人を越える学生が真剣に耳を傾けていました。



音シネマでトーク

素敵な映画をみて、あれこれ
楽しく話ませんか! **無料**

場所:フォーラム3階 活動室

*12月8日(火) 14:00～
「NOEL ノエル」

2004(米) 96分

人気俳優らによるクリスマスの奇跡を描いた感動作。最もクリスマスが似合う街・ニューヨークを舞台に人のぬくもりと愛の素晴らしさを問いかける。

*1月12日(火) 14:00～
「二人日和」

2005年(日) 111分

不治の病に冒された妻とそれを支える夫の静かな日常を通して生と死を見つめた大人のラブストーリー。主演の二人の名演技のほかに京都にゆかりの人々がドラマに彩りを添えている。

*2月9日(火) 14:00～
「イタリア旅行」

1953年(伊・仏) 97分

ロベルト・ロッセリーニ監督の妻イングリット・バーグマンとジョージ・サンダースが主演のヌーヴェルヴァーグの原石的傑作。二人の結婚生活は危機に陥っていたが、旅の途中群衆に巻き込まれ体調を崩した妻が夫の助けを求めた時、必死になって駆け付ける夫。固く抱き合う二人はお互いの愛情を改めて感じ合うのだった。

湯山玲子さんの対談である。「遊びのユヤマと怒りのウエノが...とことん語り合い」、本質を突いたスピード感のあるやり取りが小気味よい。東北の大震災と福島原発事故をきっかけに「国って何だろう」と多くの人が考え始めたことを皮切りに、「生きてて良かった」という実感を得るために、「面倒くさいけどあきらめず行動しよう。」と呼びかける。目から鱗の一冊、ご一読を!

【蔵書紹介】図書貸し出しやDVD・ビデオの視聴ができます!
「快樂上等!」 3・11以降を生きる 《著者》上野千鶴子・湯山玲子
女性学・ジェンダー研究のパイオニアの上野千鶴子さんと、著述家・ディレクターの

男女平等推進センター登録団体紹介
酒の害に取り組む「町田断酒会」
アルコールの飲み過ぎは<<毒>>

「酒は百薬の長」と言いますが、過ぎたるは及ばざるがごとしで、「飲みすぎ」は人体にとって毒薬になります。適量を超えて飲み続けると、酒を止めたくてもやめられなくなります。アルコール依存症の発症です。

この病気になると、健康を害し、仕事や家庭を失います。医療費や社会保障費などでも日本経済の大きい損失につながります。

町田断酒会は、アルコール依存症から立ち直りを目指している人たちの集まりです。私たちは飲み過ぎの弊害を市民の皆さまにも知っていただきたいと思っています。

来年1月30、31日に開催の「まちだ男女平等フェスティバル」で町田断酒会は、ご自分の飲酒度を「自己診断」していただくイベントを開催します。ご来場をお待ちします。
※「東京断酒」で検索すると、アルコールの害について情報が得られます。

「女性悩みごと相談」 電話番号:042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。

DVやセクハラ、夫婦間問題など 一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間...月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00

水(第3水曜日を除く) 13:00～20:00

(日・祝日、年末年始はお休みです)

「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日:毎月第2・第4木曜日 14:00～16:00 ※祝日の場合はお休みです。

